

2018年4月10日
株式会社東陽テクニカ

**株式会社 NOBORI と提携
医療クラウド上で、
先端読影支援処理サービス「ClearRead XR-PAL」を開始
～ 胸部 X 線骨組織透過・経時差分処理を低コストで提供 ～**

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝）は、医療クラウド PACS で高いシェアを誇る株式会社 NOBORI（本社：東京都港区、代表取締役社長：依田 佳久、以下 NOBORI）と提携し、胸部 X 線骨組織透過/経時差分クラウドサービス「ClearRead XR-PAL」の提供を2018年6月より開始いたします。

本サービスは、東陽テクニカの先端医療画像処理ソリューション「ClearRead XR シリーズ」を使用して、クラウド上で胸部 X 線骨組織透過処理および経時差分処理を行うものです。NOBORI の医療クラウドサービス「NOBORI-PAL」のひとつとして提供いたします。

2018年4月13日（金）～15日（日）にパシフィコ横浜で開催される“2018 国際医用画像総合展 (ITEM2018)”に「ClearRead XR シリーズ」を展示いたします。



胸部 X 線画像検査は、比較的検査時間が短くさらに低被ばくという特徴から、健診施設を含む多くの医療機関で撮影されています。しかし、X 線画像から得られる情報量は限られており、僅かな病変を検出する読影業務には豊富な知識と経験が求められます。にもかかわらず、放射線専門医や呼吸器専門医が年々減少しているため、特に健診の現場では専門外の医師が胸部 X 線画像読影を担当しているケースも多く見受けられ、病変の見落としの防止や読影時の心的負担を軽減する読影支援策や補助技術が長らく求められてきました。

東陽テクニカはこの支援策の一環として、僅かな病変の見落とし防止や診断精度の向上に貢献する先端医療画像処理ソリューション「ClearRead XR シリーズ」として、胸部 X 線骨組織透過処理ソリューション「ClearRead BS」および胸部 X 線経時差分処理ソリューション「ClearRead +Compare」を、2014年より国内で販売してきました。「ClearRead BS」は、胸部 X 線画像の肋骨や鎖骨などの骨組織を透過させ、骨組織と重なり検出が

困難であった肺結節や異常陰影などの視認性を向上させる画像処理技術です。また、さらなる画像処理技術を搭載した「ClearRead +Compare」は、同一患者の現在と過去の画像から骨組織を透過させるとともにその差分を抽出し、経時変化部分を強調した画像を生成します。あらゆる装置で撮影した画像に対し処理が可能のため、撮影装置の更新や増設の際、選択肢を狭めません。

「ClearRead XR シリーズ」の導入には専用サーバーを設置しますが、院内に専門医が不在または検査数が比較的少ない開業医やクリニックなどの中・小規模施設も手軽に活用できるよう、この度、NOBORI の医療クラウドサービス「NOBORI-PAL」のひとつとして、胸部 X 線骨組織透過/経時差分クラウドサービス「ClearRead XR-PAL」の提供を開始します。初期費用を抑え 1 検査毎の課金方式により、先端の画像処理を低コストで利用することができます。

東陽テクニカは、先端医療画像処理ソリューション「ClearRead XR」シリーズを様々な方式で提供することで、医療機関のリスクマネジメント強化をサポートするとともに、病気の早期発見、国内の予防医療を支援し続けてまいります。

【「ClearRead XR-PAL」サービス】

本サービスは、従来院内に設置した専用画像処理サーバーで実施する骨組織透過処理および経時差分処理を、NOBORI の医療クラウドサービス「NOBORI-PAL」を用いて 1 検査毎の課金方式で利用できるようにしたものです。本サービスは、NOBORI から国内のお客様に提供します。

- サービス名： 胸部 X 線骨組織透過/経時差分クラウドサービス「ClearRead XR-PAL」
- サービス開始時期： 2018 年 6 月（予定）

【「ClearRead XR シリーズ」*1 の特長】

本シリーズには、以下 2 つを含みます。

- 「ClearRead BS」：胸部 X 線骨組織透過処理ソリューション
- 「ClearRead +Compare」：胸部 X 線経時差分処理ソリューション
 - ✓ 肺組織の視認性を劇的に向上させる
骨組織透過処理、経時差分画像を生成
 - ✓ 胸部 X 線画像上の病変の見落とし防止、
気づきの促進
 - ✓ 読影時の医師の心的負担を軽減
 - ✓ 放射線・呼吸器の専門外の医師を強力に
バックアップ
 - ✓ 経営者のリスクマネジメントに貢献
 - ✓ 国内外あらゆる胸部 X 線装置で撮影された画像に対応



<オリジナル画像>



<骨組織透過処理画像>



<経時差分処理画像>

*1 製品名：画像診断用ソフトウェア Wink（胸部画像処理パッケージ ClearRead Pkg）
医療機器認証番号：227AGBZX00043000

【 2018 国際医用画像総合展(ITEM2018)出展のお知らせ 】

最新の医療画像機器および周辺機器が一堂に会する総合展示会“2018 国際医用画像総合展(ITEM2018)”に出展し、東陽テクニカブースに「ClearRead XR シリーズ」を展示します。また、テクマトリックス(NOBORI)ブースに、胸部 X 線骨組織透過/経時差分クラウドサービス「ClearRead XR-PAL」を展示します。

- 会期： 2018年4月13日（金）～15日（日）
- 会場： パシフィコ横浜
- ブース番号： 東陽テクニカ：ブースNo.413／テクマトリックス(NOBORI)：ブースNo.112
- 2018国際医用画像総合展(ITEM2018)公式サイト：
<http://www.jira-net.or.jp/event/item.html>
- 「2018国際医用画像総合展(ITEM2018) 出展のお知らせ」：
<https://www.toyo.co.jp/medical/seminar/detail/item2018.html>

<株式会社 NOBORI について>

株式会社 NOBORI は、会社分割によりテクマトリックス株式会社の医療システム事業を承継するとともに、三井物産株式会社の出資により、テクマトリックスと三井物産の合弁会社（テクマトリックス 66.66%、三井物産 33.34%）として設立されました。医療画像管理クラウドサービス「NOBORI」に加えて、顧客である医療施設と連携した個人向けサービスや、AI 技術などを活用したサービスなど新たな事業モデルの構築を目指します。また、これまでに医療画像管理クラウドサービス「NOBORI」は、大学病院を含め約 800 施設（2018 年 3 月末時点）の医療機関に提供し、お預かりしている画像データは、延べ患者数 2,000 万人分、検査数 1 億件、総容量 4PB を蓄積するに至っています。

株式会社 NOBORI Web サイト：<http://nobori.ltd/>

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは 1953 年の創立以来、世界最高水準の“はかる”技術の提供をコアコンピタンスとし、最先端の測定機器の輸入販売と自社開発製品の提供によって、官公庁、大学ならびに企業の研究開発を支援してきました。技術分野は、情報通信、自動車計測技術、環境エネルギー、EMC（電磁波障害）試験、海洋調査、ソフトウェア開発支援、メディカルなど幅広く、米国や中国の現地法人などを通じて世界にも提供しています。

また、2016～2017 年にかけて新しい 3 組織「セキュリティ&ラボカンパニー」「技術研究所」「ワン・テクノロジーズ・カンパニー」を設立。サイバーセキュリティサービスの提供、自動運転車の開発支援、AI（人工知能）を使ったデータ解析など、新しいソリューションの創造に取り組んでいます。

東陽テクニカは「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、これからも産業界の発展と安全で環境にやさしい社会づくりに貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ メディカルシステム営業部

TEL : 03-3245-1351 (直通) E-mail : medical@toyo.co.jp

「ClearRead BS」サイト : <https://www.toyo.co.jp/medical/products/detail/id=110>

「ClearRead +Compare」サイト : <https://www.toyo.co.jp/medical/products/detail/id=75>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。